

令和2年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

音楽

	指導上の課題の分析	指導のめあて	授業改善の視点	評価（成果と課題）
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱に合わせて歌ったりリズム打ちをしたりする活動を通して拍の流れや曲の気分を味わって楽しく表現をさせたい。また、楽器に親しみ、簡単な旋律を演奏したり、友達と合わせて演奏したりすることが必要である。 ・ 体全体で音楽を感じ取り、情景を思い浮かべて聴くことができるようにすることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱を聴いて歌う活動に親しみ、拍の流れによって曲の気分にあった表現ができるようにする。 ・ 楽器の扱い方や演奏の仕方に関心、鍵盤の位置を理解することで、よりよい演奏ができるようにする。 ・ 拍によって、体を動かしながら曲の気分を感じ取って聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書と歌集を活用し、楽しく歌に親しむように、表現方法を指導する。 ・ 児童が意欲的に学べる教材を選択し、タンギングや指遣いなど、基本的な奏法が身に付くように繰り返し指導する。 ・ リズム遊びや音遊びなどを通し、反復やリズム、フレーズなど音楽を特徴付けている要素を感じ取れるようにする。 ・ 鑑賞では体を動かしたり、聴き比べをしたりして、くり返し聴きながら、音楽を特徴付けている要素に気付くようにする。 ・ 児童に見通しをもたせるための練習計画を立てたり、毎時間のめあてを明確にもたせたりすることで、児童が学習の積み重ねによる成果をより感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に学習に取り組み、楽しんで表現活動する児童が多い。 ○曲の流れ、気分を感じ取って体を動かしたり歌ったりすることができる。 ○簡単なリズム打ちは、カードを使用したことにより、少しずつ定着してきている。 △活動の制限も相まって鍵盤ハーモニカの基本的な奏法の定着が不十分な児童も見られるので引き続きの指導が必要である。

<p>2年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱に合わせて歌ったりリズム打ちをしたりする活動を楽しみながら、音程感やフレーズ感、リズム感が育ちつつある。 ・ 鑑賞の活動では、聴いて感じ取ったことを言葉で表すことを伸ばす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱を聴いて歌ったり、階名模唱したりする活動を中心に、曲の気分を感じ取って、思いをもって演奏をできるようにする。 ・ 常時活動を工夫し、音遊びや簡単な音楽づくりの活動を取り入れる。 ・ 体を動かす活動を取り入れ、楽曲の気分を感じ取ったり、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取ったりして聴くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌唱や階名の模唱の活動は継続して行い、積み重ねを行う。音楽を形づくっている要素に気を付けて演奏したり、聴き取ったりする活動を通して表現を工夫する楽しさを味わうことができるようにする。 ・ 声や身の回りの音を使った活動を通して音遊びに親しみ、音への関心を高めるようにする。 ・ 鑑賞の活動は、繰り返し聴いたり、関連教材を聴いたりし、音楽を聴く楽しさを味わえるようにする。聴いて感じたことを発表し合ったり、板書に工夫してまとめたりすることで互いに確かめ合うことができるようにする。 ・ 児童に見通しをもたせるための練習計画を立てたり、毎時間のめあてを明確にもたせたりすることで、児童が学習の積み重ねによる成果をより感じられるようにする。 	<p>○ 拍の流れや曲の気分を感じ取り、体を動かしたり歌ったりすることができる。</p> <p>△ リズム打ちや音遊びなどの活動の中で、音楽を形づくっている要素を聴き取るのが苦手な児童がいる。</p> <p>△ 活動の制限も相まって歌唱において、自然で無理のない歌声で歌えない児童がいる。</p> <p>→ 周りの声をよく聴き、溶け込むような声で表現できるように指導をしたい。</p>
-----------	--	---	---	--

<p>3年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は生き生きと楽しく歌うことができる。さらに友達と合わせて歌う楽しさを味わわせたい。リコーダーの学習に興味をもち、運指を覚えいろいろな曲を演奏したいという意欲をもっている。この時期に、演奏の仕方の基礎を身に付けていくようにする。また、音楽づくりでは音楽の仕組みを生かしたり即興的の表現する力を育てたりすることが必要である。 ・鑑賞は音楽を聴く楽しさを味わい、音楽を形づくっている要素を感じ取り、言葉で表すことを伸ばす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な音楽経験を通し、音楽に関心をもち、曲想と音楽を形づくっている要素や歌詞の内容の関連に気付かせながら、「こんなふうに表現を工夫したい。」という思いや意図をもって学習に取り組めるようにする。 ・〔共通事項〕を核とした題材構成、学習のめあてを明確にし、授業を展開する。ユニバーサルデザインの視点に立った授業改善をめざす。 ・鑑賞の機会を多く設定し、聴いて感じ取ったことを、要素や音楽の構成に関連付け、体を使って表現したり言葉で表現したりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の声や伴奏など、常に音を聴いて表現することを意識するようにし、合わせて演奏する楽しさを味わえるようにする。 ・リコーダーは一人一人の演奏をよく聴き、基本的な奏法が確実に身に付くようにする。 ・児童の心情・発達段階に合った教材の選択、指導の展開の工夫を行う。 ・常時活動を工夫し、幅や広げ、簡単な旋律づくりや即興的な表現などの音楽づくりを行う。 ・鑑賞と表現の活動を関連付け、音楽を形づくっている要素や音楽の構成に気付き、体や言葉で表すことができるように、発問、追発問、ワークシートを工夫する。 ・児童に見通しをもたせるための練習計画を立てたり、毎時間のめあてを明確にもたせたりすることで、児童が学習の積み重ねによる成果をより感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽に興味・関心をもち意欲的に取り組んでいる。表現では生き生きと友達の声や音を聴き合って、歌ったり演奏したりする姿が見られる。 ○リコーダーは左手5音を使つての演奏については一人一人基本的な奏法を身に付け、積極的に取り組んでいる。 △右手の使用については活動の制限も相まって十分な時間が取れなかった。確実な奏法の定着化を図りたい。 △音楽づくりの活動は、取り入れているがさらに充実させることが課題である。 ○鑑賞と表現の関連を図った授業では、音楽を形づくっている要素を聴き取り文章で表すことができた。さらに関連付けを考えた題材構成を発展させたい。
-----------	---	--	---	--

<p>4年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は生き生きと楽しく歌うことができる。さらに、音を重ねて歌うことや響きに興味を持ち始めているので、ここをのびしたい。器楽では、リコーダー以外の学習にも興味をもち、楽器の奏法と共に、曲想にふさわしい表現の仕方をさらに工夫できるようにすること、音楽づくりでは音楽の仕組みを生かしてまとまりのある音楽をつくれるようにしたり、即興的に表現したりする力をつけることが必要である。 ・鑑賞は音楽を聴く楽しさを味わい、音楽を形づくっている要素を感じ取り、言葉で表すことを伸ばす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な音楽経験を通し、音楽に関心をもち、音楽を形づくっている要素に気付き、関連させながら、もっと～ふうに表現を工夫したいという思いをもって学習に取り組めるようにする。 ・〔共通事項〕 およびユニバーサルデザインの視点に立ったどの子ども楽しめる授業と学習のめあてを明確にした授業をめざす。 ・鑑賞の機会を多く設定し、めあてをはっきりもって、何回もくり返し聴くようにする。そして、聴き取ったこと、感じ取ったことを、要素や音楽の構成に関連付け、言葉で表現できるようにする。また、音楽づくりの活動に生かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の声や伴奏など、常に音を聴いて表現することを意識するようにし、合わせて演奏する楽しさを味わえるようにする。 ・リコーダーは一人一人よく聴き、基本的な奏法が身に付くようにするとともに、学習形態を工夫し、友達とかかわりをもって活動し、自分たちでつくり上げようという気持ちを育てるようにする。 ・児童の心情・発達段階に合った教材の選択、指導の展開の工夫を行う。 ・音遊びやリズム打ちなど常時活動を通し、音楽づくりの芽を育てる。簡単なふしづくりや即興的な表現を楽しみ、音楽の仕組みやアイデアをもとに学習を展開できるようにする。 ・鑑賞と表現の活動を関連付け、音楽を形づくっている要素や音楽の構成に気付き、言葉で表すことができるように、発問、追発問、ワークシート、板書を工夫する。 ・児童に見通しをもたせるための練習計画を立てたり、毎時間のめあてを明確にもたせたりすることで、児童が学習の積み重ねによる成果をより感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生き生き、伸び伸びと表現をすることができる。歌唱では、声の重なりを感じ取り響きを感じて意欲的に歌うことができるようになった。 △活動の制限のため、サミングの技能を習得させるための時間が十分確保できなかった。残ってしまった課題については、次年度にとり行い児童1人1人への確実な定着を図りたい。 ○音楽づくりの活動を学期に1回は取り入れ、即興的に表現したり自分たちで工夫したりすることができた。さらに、この活動を充実させることが課題である。 ○鑑賞は表現との関連を図った題材構成を考えたこと、発問や板書を工夫し共有する場を意識的に設けるようにしたことが成果であった。さらに、表現との関連付けを工夫するようになりたい。
-----------	--	--	--	--

<p>5年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に授業に取り組む姿が見られる。歌唱では二部合唱にも慣れ、響きを感じながら歌っている。器楽の学習でも友達とかかわり合い、音を合わせて演奏する楽しさを感じ取っている。さらに思いや意図をもって響きのある歌い方、互いの声や音を聴き合い豊かな表現を伸ばすことが必要である。また、音楽づくりでは、即興的な表現や、音の仕組みを生かして音楽をつくる活動を充実していく必要がある。 ・表現と鑑賞の活動を関連付けながら聴き取ったこと、感じ取ったことを人に伝えられるように言葉で表現する力を育てる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な音楽経験を通し、音楽に関心をもち、意欲的に活動ができるようにする。常に音楽を形づくっている要素に気付き、関連させながら、もっと〜ふうに表現を工夫したいと一人一人が思いをもって学習に取り組めるようにする。 ・〔共通事項〕を核にユニバーサルデザインの視点に立った授業改善を行い、どの子もわかる授業を目指す。また、児童の発想や今までの経験を生かし、工夫した音を出したり即興的に音を表現したりしながら音楽をつくったりする。 ・表現と鑑賞の関連を図り、めあてをはっきりもって、聴くようにする。聴き取ったことや感じ取ったことを要素や音楽の構成に関連付け、言葉で表現できるようにする。また、音楽づくりの活動に生かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の声や伴奏など、常に音を聴いて表現することを意識するようにし、合わせて演奏する楽しさを味わえるようにする。 ・児童の心情・発達段階に合った教材の選択、指導の展開の工夫を行う。 ・音楽づくりでは、掲示やワークシートを工夫し、自分たちで活動を進めることができるようにする。教師が積極的に児童の工夫を認め、全体に広げ、次の活動につなげていくよう支援を行う。 ・鑑賞はねらいに合わせ映像も用意し、目と耳で確認し、さらに音楽への興味・関心を高めるようにする。音楽を形づくっている要素や音楽の構成に気付き、言葉で表すことができるように、発問、追発問、ワークシート、板書を工夫する。 ・児童に見通しをもたせるための練習計画を立てたり、毎時間のめあてを明確にもたせたりすることで、児童が学習の積み重ねによる成果をより感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の声や音を聴いて表現すること、友達と合わせることの楽しさを味わわせたいと取り組んだが、互いの声を聴き合っただけではよい表現をめぐらす気持ちは育てることが課題である。 △技能面でも十分に身に付けている児童とそうでない児童の差が大きい。思いや願いをもって演奏する気持ちをもって集中して課題に取り組むことが課題である。 ○UDの視点に立った授業改善や、児童の発想や今までの経験を生かした音楽づくりの活動は意欲的に生き生きと表現することができた。さらに様々な音楽経験を通し、児童を育てることが課題である。 △表現と鑑賞の関連を関連付けた授業の展開を心がけたが、さらに鑑賞を集中して聴き、知覚・感受を深めていくことが課題である。また、電子黒板の導入により、視覚に訴えられるよう映像を大きな画面で視聴できたことは、児童の興味・関心につながるものになった。
-----------	--	---	--	---

<p>6年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌うこと、合唱をすることが大好きな学年で意欲的に授業に取り組む姿が見られる。歌唱では音の重なりによる響きにも興味をもち取り組んでいる。器楽の学習でも友達とかかわり合い、音を合わせて演奏する楽しさを感じ取っている。さらに響きのある歌い方、互いの声や音を聴き合い豊かな表現を目指そうとする心情を伸ばすことが必要である。また、音楽づくりでは、即興的な表現や、音の仕組みを生かして音楽をつくる活動を充実していく必要がある。 ・表現と鑑賞の活動を関連付けながら聴き取ったこと、感じ取ったことを人に伝えられるように言葉で表現する力を育てる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な音楽経験を通し、音楽に関心をもち、意欲的に活動ができるようにする。常に音楽を形づくっている要素に気付き、関連させながら、もっと〜ふうに表現を工夫したいと一人一人が思いをもって学習に取り組めるようにする。 ・〔共通事項〕を核にユニバーサルデザインの視点に立った授業改善を行い、どの子もわかる授業を目指す。また、児童の発想や今までの経験を生かし、工夫した音を出したり即興的に音を表現したりしながら音楽をつくったりする。 ・表現と鑑賞の関連を図り、めあてをはっきりもって、聴くようにする。聴き取ったことや感じ取ったことを要素や音楽の構成に関連付け、言葉で表現できるようにする。また、音楽づくりの活動に生かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の声や伴奏など、常に音を聴いて表現することを意識するようにし、合わせて演奏する楽しさを味わえるようにする。 ・学習形態を工夫し、友達とかかわりをもって活動し、自分たちでつくり上げようという気持ちを育てるようにする。 ・児童の心情・発達段階に合った教材の選択、指導の展開の工夫を行う。 ・音楽づくりでは、掲示やワークシート、発表の仕方を工夫し、互いを自分たちで活動を進めることができるようにする。 ・鑑賞はねらいに合わせ映像も用意し、目と耳で確認できるようにする。音楽を形づくっている要素や音楽の構成に気付き、言葉で表すことができるように、発問、追発問、ワークシートを工夫する。 ・児童に見通しをもたせるための練習計画を立てたり、毎時間のめあてを明確にもたせたりすることで、児童が学習の積み重ねによる成果をより感じられるようにする。 	<p>△各クラスとも学年が上がるごとに雰囲気は暗くなっていき、それが学習に対する意欲の低下や演奏の質の低下につながった。リコーダーやクラシックの取り組みに対してはとりあえず取り組むものの、演奏に対する思いや意図を発言することは少なく、特に歌唱の活動に対しては、歌声が全く聞こえないことも多々あった。自身の指導力不足なのか、コロナの影響の一端なのか原因を考えて次年度に生かす必要があるが、情操教育である音楽科だからこそ、児童が楽しく取り組める環境を整えていきたい。</p> <p>○鑑賞では電子黒板導入により、大きな画面で視聴ができる利点を生かした。知覚・感受したことを文章で表すことが的確にできた。</p>
-----------	---	---	---	---